

『いきいき大田写真コンクール』から学ぶべきこと
田 端 実 造

新春、大田区パソコン同好会の会長から写真コンクールについて機関誌17号の【クリック】に掲載の原稿依頼があり、会員である私は、写真について多少知っているノウハウを披露することで、老人の冷や水にならぬよう仲間と一緒に学びたく思って記述することにした。

●展示会場の入選作品：

区内の様々な地域やイベントを撮影してある作品が199選と多数でした。私なりに講評すると全体的に良かったし、デジタルカメラの普及で個々の写真が綺麗に素晴らしく表現され楽しかったです。

ジュニア部門賞の「夏休みの楽しみ」“花火”を撮影した子供さんは小学校6年生でした。審査委員長は、しきりに細かい点を問いただして居ましたが・・・微笑ましい光景の一場面でした。

そして委員長が、最後に申した言葉にこれからも続けて頑張るよう子供さんに話しかけていたことがとても印象的でした。

お話は変わりますが、展示されている写真は全てハードルが高いので写真を鑑賞したり撮ること自体躊躇している方が多いような気がします

その様なことは間違いと思います。ご自分のコンパクト デジタル カメラで、感ずるままに自由自在に好きな被写体を撮り自分を表現することで素晴らしい上手ないい写真が撮れます。

3つの原則があり、撮る、見せる、見て貰うことを大切にしましょう！

●PCで動画の作成の写真：

OPC 同好会は、デジタル&ビデオ講座を毎月開催し、そこでパソコンを使って動画作品に仕上げる勉強会が開かれています。しかも個人個人に指導を行っています。その動画には欠く事のできないのが写真の画像です。その様な意味からしても写真が沢山ある事で好きな画像を選択し、立派な綺麗な上映用の動画の作品が仕上がると思っています。

●私の入選・入賞作品：

①第25回入賞作品名：大田区平和宣言記念事業『花火の祭典』…多摩川にて

②第26回入選作品名：この一瞬をとらえる『花火』…多摩川にて



完